

平成26年度第2回 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議

日 時:平成27年2月20日(金)

18:00~20:00

場 所:ピュアリティまきび3階「飛鳥」

次 第

1 開 会

2 会長及び副会長選出

3 議 題

(1) 「安心ハート手帳」の運用評価について

- ・ パス届出医療機関数の推移
- ・ 「安心ハート手帳」にかかるアンケート調査結果

(2) 「冠動脈疾患 ～上手につき合うために～」の改訂について

4 報告事項

- ・ おかやまハートフルウォーキングの開催報告

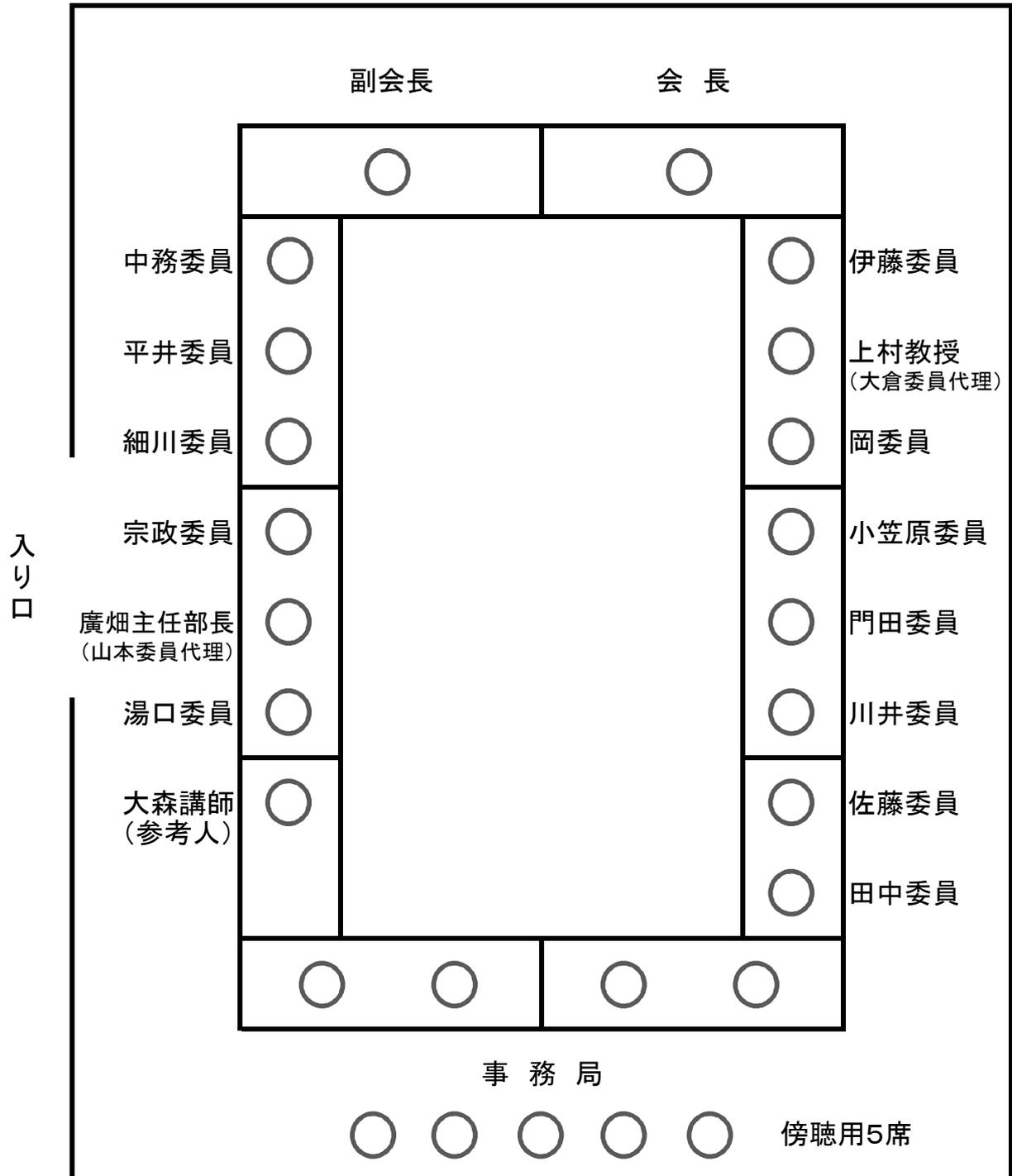
5 その他

6 閉 会

平成26年度 第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 席表

日時:平成27年2月20日(金)18:00~20:00

場所:ピュアリティまきび 3階「飛鳥」



平成26年度第2回 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 出席者名簿

(委員)

所 属・職 名	氏 名	備 考
岡山大学病院 循環器内科教授	伊 藤 浩	
川崎医科大学附属病院 循環器内科教授	上 村 史 朗	大倉宏之委員の代理
津山中央病院 循環器科部長	岡 岳 文	
岡山県薬剤師会 副会長	小笠原 加 代	
倉敷中央病院 循環器内科主任部長	門 田 一 繁	
岡山県備北保健所 所長	川 井 睦 子	
岡山赤十字病院 循環器内科部長	佐 藤 哲 也	
岡山県医師会 理事	田 中 茂 人	
日本健康運動指導士会 岡山県支部長	田 原 秀 二	欠席
岡山県病院協会 副会長	中 務 治 重	
岡山県看護協会 常務理事	平 井 康 子	
岡山県栄養士会 国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	細 川 優	
国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	宗 政 充	
心臓病センター榊原病院 循環器内科主任部長	廣 畑 敬	山本桂三委員の代理
岡山県理学療法士会 心臓病センター榊原病院 リハビリテーション室技士長	湯 口 聡	

(委員五十音順)

(参考人)

岡山大学病院 歯周科講師	大 森 一 弘	
--------------	---------	--

(事務局)

岡山県保健福祉部医療推進課 課長	則 安 俊 昭	
〃 総括副参事	高 原 典 章	
〃 主任	国 定 優 次	
〃 主任	土 橋 酉 紀	

岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議設置要綱

(目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、急性心筋梗塞の急性期・回復期・在宅等における継続的な診療や服薬、運動等の生活指導など、患者が安心できる生活を支援するため、心筋梗塞医療等に関わる多職種協働による医療提供体制を整備することを目的とした、岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、急性心筋梗塞の医療に係る次の事項について協議する。

- (1) 地域連携クリティカルパスに関すること。
- (2) 疾病の経過等に応じて医療機関に求められる医療機能等の具体的な要件に関すること。
- (3) 連携の推進状況を把握するための指標（目標とする指標を含む。）に関すること。
- (4) その他急性心筋梗塞の医療推進に必要な事項。

(組織)

第3条 検討会議は、委員17名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、消防関係者等で構成する。

(会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

(会議)

第6条 検討会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(部会)

第7条 検討会議は、必要に応じて、部会を設置することができる。

(意見の聴取)

第8条 検討会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 検討会議の庶務は、岡山県保健福祉部医療推進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年1月20日から施行する。

この要綱は、平成24年7月 2日から施行する。

岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 委員名簿

氏 名	所 属・職 名	選 定 理 由
伊 藤 浩	岡山大学大学院 循環器内科教授	県南東部主要病院
大 倉 宏 之	川崎医科大学附属病院 循環器内科副部長	県南西部主要病院
岡 岳 文	津山中央病院 循環器内科部長	県北部主要病院
小笠原 加 代	岡山県薬剤師会 副会長	岡山県薬剤師会推薦
門 田 一 繁	倉敷中央病院 循環器内科主任部長	県南西部主要病院
川 井 睦 子	岡山県備北保健所 所長	岡山県保健所長会推薦
佐 藤 哲 也	総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長	県南東部主要病院
田 中 茂 人	岡山県医師会 理事	岡山県医師会推薦
田 原 秀 二	日本健康運動指導士会岡山県支部 支部長	日本健康運動指導士会 岡山県支部推薦
中 務 治 重	岡山県病院協会 副会長	岡山県病院協会推薦
平 井 康 子	岡山県看護協会 常務理事	岡山県看護協会推薦
細 川 優	国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	岡山県栄養士会推薦
宗 政 充	国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	県南東部主要病院
山 本 桂 三	心臓病センター榊原病院 副院長	県南東部主要病院
湯 口 聡	心臓病センター榊原病院 リハビリテーション室 技士長	岡山県理学療法士会推薦

(5 0 音 順)

急性心筋梗塞医療連携パス 届出医療機関数の推移

	H25.4.1	H25.7.1	H25.10.1	H26.1.1	H26.4.1	H26.7.1	H26.10.1	H27.2.1
南東部	25	37	45	51	60	67	71	83
南西部	10	16	30	35	38	41	45	46
高梁・新見	3	3	6	6	6	6	6	6
真庭	2	2	2	3	3	3	3	3
津山・英田	2	6	16	20	21	24	24	26
計	42	64	99	115	128	141	149	164

急性心筋梗塞医療連携パス届出医療機関

番号	医療圏	医療機関名	所在地
1	県南東部	一般財団法人淳風会 旭ヶ丘病院	岡山市
2		医療法人 あだち内科医院	岡山市
3		医療法人成和会 栗井内科診療所	岡山市
4		池上医院	岡山市
5		医療法人徳寿会 池田医院	岡山市
6		医療法人ネバーランド 石井内科クリニック	岡山市
7		板野医院	岡山市
8		医療法人洗和会 井上内科小児科医院	岡山市
9		井村医院	岡山市
10		医療法人知誠会 岩藤胃腸科・外科・歯科クリニック	岡山市
11		医療法人うえおか内科医院	岡山市
12		内科・循環器内科 氏平医院	岡山市
13		医療法人ふたば会 うちおグリーンクリニック	岡山市
14		医療法人 岡田内科	岡山市
15		社会医療法人 岡村一心堂病院	岡山市
16		独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山市
17		医療法人自由会 岡山光南病院	岡山市
18		岡山医療生活協同組合 総合病院岡山協立病院	岡山市
19		社会福祉法人恩賜財団 岡山済生会総合病院	岡山市
20		地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院	岡山市
21		日本赤十字社岡山支部 総合病院岡山赤十字病院	岡山市
22		医療法人社団操仁会 岡山第一病院	岡山市
23		国立大学法人岡山大学 岡山大学病院	岡山市
24		社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院	岡山市
25		岡山みなみクリニック	岡山市
26		医療法人五尽会 岡山ハートクリニック	岡山市
27		独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院	岡山市
28		一般財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院	岡山市
29		小野医院	岡山市
30		医療法人社団 かとう内科並木通り診療所	岡山市
31		かりや内科	岡山市

番号	医療圏	医療機関名	所在地
32	県南東部	医療法人一進会 河合外科	岡山市
33		学校法人川崎学園 川崎医科大学附属川崎病院	岡山市
34		かわだファミリークリニック	岡山市
35		医療法人 川村医院	岡山市
36		医療法人天成会 小林内科診療所	岡山市
37		医療法人健朋会 佐々木医院	岡山市
38		澤原内科小児科医院	岡山市
39		医療法人創和会 重井医学研究所附属病院	岡山市
40		医療法人 庄医院	岡山市
41		医療法人鳳明会 新海医院	岡山市
42		社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院	岡山市
43		医療法人 せとうちクリニック	岡山市
44		医療法人清屋会 高屋クリニック	岡山市
45		谷野内科循環器科クリニック	岡山市
46		医療法人若樹会 辻医院	岡山市
47		辻クリニック	岡山市
48		医療法人寛栄会 時末消化器科内科医院	岡山市
49		医療法人 中村医院	岡山市
50		ながい内科クリニック	岡山市
51		医療法人経和会 難波医院	岡山市
52		脳神経外科・内科 眞壁クリニック	岡山市
53		医療法人隆和会 畑クリニック	岡山市
54		医療法人 原医院	岡山市
55		医療法人 深井医院	岡山市
56		医療法人社団 福島内科医院	岡山市
57		藤本循環器内科クリニック	岡山市
58		伏見医院	岡山市
59		医療法人社団 瀧本医院	岡山市
60		医療法人まえだ診療所	岡山市
61		松本医院	岡山市
62		医療法人 万袋内科胃腸科医院	岡山市
63		医療法人社団恵風会 宮本整形外科病院	岡山市
64		ムネトモクリニック	岡山市
65		医療法人みさお 湯原内科医院	岡山市
66		医療法人 渡辺医院	岡山市
67		医療法人朋友会 渡辺内科	岡山市
68		医療法人 井上内科医院	玉野市
69		医療法人社団恵誠会 大西病院	玉野市
70		医療法人 近藤医院	玉野市
71		たなべ内科	玉野市
72		総合病院玉野市立玉野市民病院	玉野市
73		玉野三井病院	玉野市
74		医療法人いずみ会 三宅内科外科医院	玉野市
75		医療法人不老会 小林クリニック	備前市
76		備前市国民健康保険市立備前病院	備前市
77		備前市国民健康保険市立吉永病院	備前市

番号	医療圏	医療機関名	所在地
78	県南東部	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	瀬戸内市
79		医療法人仁生会 長田医院	瀬戸内市
80		医療法人 那須医院	瀬戸内市
81		長谷井内科医院	瀬戸内市
82		ふよう内科クリニック	赤磐市
83		医療法人 平病院	和気町
84	県南西部	医療法人 イマイクリニック	倉敷市
85		医療法人王慈会 王子脳神経外科医院	倉敷市
86		医療法人 おか内科耳鼻科	倉敷市
87		医療法人 おぎの内科医院	倉敷市
88		学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院	倉敷市
89		医療法人 かわたクリニック	倉敷市
90		医療法人誠和会 倉敷記念病院	倉敷市
91		医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル	倉敷市
92		一般財団法人淳風会 倉敷第一病院	倉敷市
93		公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	倉敷市
94		医療生協 コープくらしき診療所	倉敷市
95		医療法人社団五聖会 児島聖康病院	倉敷市
96		医療法人創和会 しげい病院	倉敷市
97		医療法人高志会 柴田病院	倉敷市
98		柴田内科胃腸科医院	倉敷市
99		医療法人社団河合会 新倉敷胃腸肛門外科内科	倉敷市
100		新倉敷ピーチクリニック	倉敷市
101		医療法人幸伸会 すぎはら眼科・循環器科内科	倉敷市
102		医療法人エム・ピー・エヌ 武田病院	倉敷市
103		倉敷医療生活協同組合 玉島協同病院	倉敷市
104		医療法人社団新風会 玉島中央病院	倉敷市
105		公益財団法人弘仁会 玉島病院	倉敷市
106		医療法人和楽会 野上内科医院	倉敷市
107		八王寺内科クリニック	倉敷市
108		医療法人 天和会 松田病院	倉敷市
109		医療法人和葉会 まび記念病院	倉敷市
110		総合病院水島協同病院	倉敷市
111		医療法人水清会 水島第一病院	倉敷市
112		よしの医院	倉敷市
113		内科・小児科 猪木医院	笠岡市
114		笠岡市立市民病院	笠岡市
115		医療法人社団清和会 笠岡第一病院	笠岡市
116		井原市立井原市民病院	井原市
117		医療法人 清音クリニック	総社市
118		医療法人健奉会 谷向内科	総社市
119		医療法人行堂会 長野病院	総社市
120		医療法人飛翔会 鴨方クリニック	浅口市
121		医療法人社団同仁会 金光病院	浅口市
122		医療法人 福嶋医院	浅口市
123		医療法人 ほかま医院	浅口市

番号	医療圏	医療機関名	所在地
124	県南西部	みうら内科循環器科	浅口市
125		医療法人萌生会 国定病院	里庄町
126		小塚医院	矢掛町
127		医療法人正光会 鳥越病院	矢掛町
128		矢掛町国民健康保険病院	矢掛町
129		医療法人慈成会 山縣内科医院	矢掛町
130		高梁・新見	医療法人慶真会 大杉病院
131	高梁市国民健康保険成羽病院		高梁市
132	医療法人清梁会 高梁中央病院		高梁市
133	医療法人緑隆会 太田病院		新見市
134	社会医療法人哲西会 哲西町診療所		新見市
135	医療法人社団思誠会 渡辺病院		新見市
136	真庭		医療法人社団井口会 総合病院落合病院
137		社会医療法人緑荘会 金田病院	真庭市
138		医療法人かめの子会 米田内科医院	真庭市
139	津山・英田	医療法人 いちば医院	津山市
140		医療法人 井戸内科クリニック	津山市
141		医療法人 おおうみクリニック	津山市
142		医療法人こころ 勝北診療所	津山市
143		医療法人勝北クリニック 勝北すこやかクリニック	津山市
144		一般財団法人津山慈風会 津山中央病院	津山市
145		一般財団法人津山慈風会 津山中央記念病院	津山市
146		津山東クリニック	津山市
147		社会医療法人清風会 津山ファミリークリニック	津山市
148		たまち内科クリニック	津山市
149		中尾内科クリニック	津山市
150		医療法人和風会 中島病院	津山市
151		社会医療法人清風会 日本原病院	津山市
152		医療法人 本位田診療所	津山市
153		またの内科循環器科クリニック	津山市
154		青山医院	美作市
155		福井医院	美作市
156		社会医療法人清風会 湯郷ファミリークリニック	美作市
157		一般財団法人共愛会 芳野病院	鏡野町
158		山田医院	鏡野町
159		医療法人社団 小坂田医院	勝央町
160		医療法人 さとう記念病院	勝央町
161		太平台医院	勝央町
162		社会医療法人清風会 奈義ファミリークリニック	奈義町
163		秋田医院	久米南町
164		関医院	美咲町



医推第 999号
平成26年12月5日

急性心筋梗塞医療連携パス（安心ハート手帳）
届出医療機関の長 殿

岡山県保健福祉部医療推進課長
（公 印 省 略）

「安心ハート手帳」運用に係るアンケート調査の依頼について

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用開始から1年半が経過しました。県では、この取組に御参加いただいた医療機関の先生方に御意見を伺うため、運用状況について概ね半年おきにアンケート調査を実施していますが、今回は平成26年度上半期の状況について把握したいので、同様の内容により調査を実施させていただきます。

調査結果は、「安心ハート手帳」の今後の改善に活かしていきたいと考えておりますので、御協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

記

- 1 調査様式 別紙のとおり（調査対象期間以外は、前回から変更ありません）
- 2 回答期限 平成26年12月24日（水）
※お手数ですが、FAXにて下記担当まで送付願います。
- 3 その他
 - ・前回調査の取りまとめ結果を同封していますので、御参照ください。
 - ・「安心ハート手帳」については、以下の県HPをご覧ください。

<http://www.pref.okayama.jp/page/342673.html>

岡山県庁トップページ > 組織で探す > 保健福祉部 > 医療推進課 >
岡山県の急性心筋梗塞医療連携クリティカルパス（安心ハート手帳）

(担当) 岡山県保健福祉部医療推進課 疾病対策推進班 国定 TEL：086-226-7321 FAX：086-224-2313
--

※ 平成26年12月24日(水)までにご回答願います。

【急性期病院用】

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」 アンケート調査票

医療機関名：
記入者：

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用が、平成25年4月の開始から1年半経過しました。「安心ハート手帳」の運用等について先生方のご意見を伺い、今後の改善に活かしていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしく願いいたします。

1. 「安心ハート手帳」の運用実績について

※ 平成26年4月1日～平成26年9月30日の間に新規入院された患者の実績

問1. 貴病院の急性心筋梗塞による入院患者数をご記入ください。 _____人

問2. 問1の入院患者のうち、「安心ハート手帳」の適応症例に該当する対象者がいましたか。

1. いた →問3へ
2. いない } →問5へ
3. 不明 }

※ 「安心ハート手帳」の適応症例（「安心ハート手帳運用マニュアル」より抜粋）

「安心ハート手帳」の適応とする症例は、急性期病院が選定して下さい。
概ね以下に示す症例としています。

- ・重症心不全などの重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- ・心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
- ・ADLが自立している症例
- ・冠動脈再灌流療法が施行された症例

問3. 問2で「1 いた」を選択した方にお伺いします。

貴病院で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1. 対象者全員が利用 →問5へ
_____人（うち院外への紹介件数 _____人）
2. 対象者の一部が利用 →問4へ
_____人（うち院外への紹介件数 _____人）
3. 無し →問4へ

2ページ目へ →

問4. 問3で「2 対象者の一部が利用」または「3 無し」を選択した方にお伺いします。

「安心ハート手帳」を利用されなかった主な理由をお聞かせ下さい(2つまで回答可)。

1. 安心ハート手帳のことを知らなかった (院内での周知が図られていなかった)。
2. 使い方がわからなかった。
3. 患者の理解が得られなかった。
4. 忙しくて手が回らなかった
5. 院内に在庫がなかった。
6. その他

()

2. 「安心ハート手帳」の様式について

問5. 「安心ハート手帳」に担当医等が記載する情報量についてお伺いします。

1. 少ない
2. ちょうどよい
3. 多い

問6. 問5でそれぞれ選択された理由をご記入ください。

()

3. その他

問7. 「安心ハート手帳」、「冠動脈疾患～上手につき合うために～」の改善に向けて、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

()

ご協力ありがとうございました。



アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数13施設（届出医療機関数13施設）回収率：100%

（平成26年4月1日～平成26年9月30日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5・問6		問7
	急性心筋梗塞による入院患者数（人）	うちバスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のバス利用度及び件数		バスを利用しなかった理由	情報量について	その理由	その他
岡村一心堂病院	5人	いない			該当者がいなかった	不明	使用していないため不明	
岡山医療センター	20人	いた	一部が利用	15人 (院外紹介15人)	入院後直ちにバイパス手術となった方と院内死亡となった方は結果的に渡せていない。それ以外の方は全例バスにしたがって渡している。	ちょうどよい	以前にも書いたように、医師が最低限の記載のみする形で運用しているため。	A5版の冊子みたいなものもあればよい。(ワーフアリン手帳に大小2つのものがあるように)
総合病院岡山協立病院	10人	いた	一部が利用	3人 (院外紹介0人)	認知症などで利用が困難であった。	ちょうどよい		・カラーで字も大きく、高齢者でも見やすいと思います。 ・冠動脈疾患の冊子について、服薬のところで、プラザキサ以外に、イグザレルト、エリキウス、リクシアナ等の薬も含めた方がよいのでは。 ・安心ハート手帳の体重記載がグラフのみでは難しい方がおられました。
岡山済生会総合病院	6人	いた	無し		(1)未届医療機関へ転院…症例連絡は連携室になし (2)担当医に認識なし (3)軽症者	ちょうどよい		一時期の様な院内の盛り上がりも下火となりました。キープポイントは保険点数による誘導と思われます。
岡山市立市民病院	8人	いた	一部が利用	5人 (院外紹介3人)	患者死亡	ちょうどよい	—	—
岡山赤十字病院	32人	いた	全員が利用	30人 (院外紹介27人)	—	ちょうどよい	—	—
岡山大学病院	5人	いた	一部が利用	4人 (院外紹介1人)	安心ハート手帳のことを知らなかった(院内での周知が図られていなかった)。	ちょうどよい	—	—
岡山ハートクリニック	28人	いた	無し		リハビリの体制が変わったため	ちょうどよい	必要と思われる情報が、ほぼ網羅されているため	—
岡山労災病院	16人	いた	一部が利用	14人 (院外紹介6人)	患者の理解が得られなかった。	ちょうどよい	—	—
心臓病センター榊原病院	82人	いた	一部が利用	36人 (院外紹介36人)	医師が指示を忘れてしまうことがある。	ちょうどよい	最低限の情報は記載されており、これ以上増やすと大きくなりすぎるから。	地域かかりつけ薬局との連携において、薬局薬剤師より各職種のコメント記載欄が欲しいとの要望がありました。
川崎医科大学附属病院	53人	いた	全員が利用	13人 (院外紹介7人)		ちょうどよい	—	—
倉敷中央病院	96人	いた	一部が利用	53人 (院外紹介50人)	対象患者のうち、4人が中止(2人が認知症、1人が本人の性格、1人が全盲)	ちょうどよい	必要十分な量である。	—
津山中央病院	58人	いた	一部が利用	28人 (院外紹介23人)	・忙しくて手が回らなかった。 ・県外在住のため。 ・他病院・他施設への転院のため。 ・重複障害があるため。	ちょうどよい	—	・冊子が大きすぎて、患者さんが持ち運びにくい。 ・「日々の生活の記録」が記入しにくい。 ・METs表の内容が、もう少し日常生活に関係したものがよい。 ・P32の上限にあるような、疾患治療にかかる費用の目安がわかればよいかもしれない
合計	419人			201人 (院外紹介168人)				

アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数13施設（届出医療機関数13施設）回収率：100%

（平成25年10月1日～平成26年3月31日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5・問6		問7
	急性心筋梗塞による入院患者数（人）	うちバスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のバス利用度及び件数		バスを利用しなかった理由	情報量について	その理由	その他
岡村一心堂病院	1人	いない	—		—	—	使用していないため不明	—
岡山医療センター	11人	いた	全員が利用	11人 （院外紹介11人）	—	ちょうどよい	”最低限のこと”しか医師が記入しなくてすむように運用している	ファイルより冊子の方がいいのかもしれない
総合病院岡山協立病院	25人	いた	全員が利用	9人 （院外紹介4人）	—	ちょうどよい	記載量と負担が適切	安心ハート手帳 日々の生活の記録で、高齢者の方々には、体重グラフが書けない方が多かったです。別に数字を記載する枠があればと思います。
岡山済生会総合病院	8人	いた	一部が利用	3人 （院外紹介2人）	医師主導で進める場合、他のバスと同様なかなか進まない。対象患者がかかりつけ医をもっているも、届出を出されていない医療機関が多い。	ちょうどよい	—	「安心ハート手帳」の内容的には問題ないと思いますが、普及に向けて、この地域での認知・盛り上がりが出ていないと思います。また、保険点数等での誘導も必要ではないでしょうか。
岡山市立市民病院	18人	いた	一部が利用	5人 （院外紹介1人）	死亡、認知症高度などで使用不可能	ちょうどよい	—	—
岡山赤十字病院	30人	いた	一部が利用	15人 （院外紹介14人）	年末退院となったため、対応できなかった。	ちょうどよい	患者さんに分かりやすい。ステントが入っている位置など一目で分かり、よいと思う。	—
岡山大学病院	9人	いた	一部が利用	8人 （院外紹介1人）	安心ハート手帳のことを知らなかった（院内での周知が図られていなかった）。	ちょうどよい	必要最小限だと思う	どこまで使用されているのか、相手方がどの様に感じているか、患者側の意見も知りたい。 ・やはり大きいと感じる。
岡山ハートクリニック	36人	いた	一部が利用	34人 （院外紹介30人）	患者の理解が得られなかった。	ちょうどよい	必要な情報が記入できているし、特に不自由に思ったことがないから。	—
岡山労災病院	28人	いた	全員が利用	23人 （院外紹介6人）	—	ちょうどよい	多すぎず、患者が理解しやすいと思います。	受診時のHbA1Cやコレステロール値を記入するスペースがあれば患者自身にも指標となりよいと思います。
心臓病センター榊原病院	87人	いた	一部が利用	25人 （院外紹介25人）	安心ハート手帳のことを知らなかった（院内での周知が図られていなかった）。	ちょうどよい	必要十分な量だと思います。	・バスを配布しやすいように、バスを配布するまでの流れ（システム）の例を紹介してもらえると助かります。 ・ポケットサイズの方が、携帯しやすいのではないかと思います。 ・体重記入をグラフ化に限定してしまうと、患者側としては記入に手間を感じるのではないかと思います。
川崎医科大学附属病院	58人	いた	全員が利用	16人 （院外紹介9人）	—	ちょうどよい	必要最低限であり、かつそれで患者の把握が可能である。	—
倉敷中央病院	94人	いた	全員が利用	56人 （院外紹介56人）	—	ちょうどよい	必要最低限の内容だから（しかし、これ以上は書けない）	—
津山中央病院	45人	いた	一部が利用	25人 （院外紹介20人）	・忙しくて手が回らなかった。 ・県外在住の方だったため。 ・重複障害があったため。	ちょうどよい	—	・かかりつけ医とやりとりする欄をつくった方がよい。 ・持参を忘れる事がある。運用についてもう少し分かりやすく ・そろそろバージョンアップしてもよいのでは
合計	450人			230人 （院外紹介179人）				

※ 平成26年12月24日(水)までにご回答願います。

【かかりつけ医療機関用】

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」 アンケート調査票

医療機関名:
記入者:

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用が、平成25年4月の開始から1年半経過しました。「安心ハート手帳」の運用等について先生方のご意見を伺い、今後の改善に活かしていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしくお願いたします。

1. 「安心ハート手帳」の運用実績について ※ 平成26年4月1日～平成26年9月30日の間に新規に発生した実績

問1. 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1. 有 _____ 件
2. 無

問2. 問1で「1 有」を選択した方にお聞きます。

連携した急性期病院名をご記入ください。 _____ 病院 _____ 件
_____ 病院 _____ 件
_____ 病院 _____ 件

2. パス様式について

問3. 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

1. 少ない
2. ちょうどよい
3. 多い

問4. 問3でそれぞれ選択された理由をご記入ください。

--

問5. 「安心ハート手帳」、「冠動脈疾患～上手につき合うために～」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。



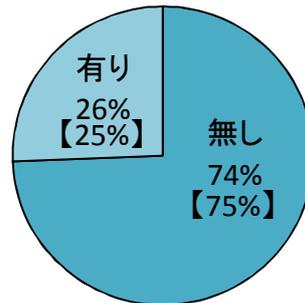
アンケート結果 <かかりつけ医療機関>

回答医療機関数78施設（届出かかりつけ医療機関数133施設） 回収率:58.6%

問1 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1 有り	20【18】
2 無し	58【53】

「有り」とした20医療機関のうち、
前回の調査でも利用があった
医療機関
…8医療機関



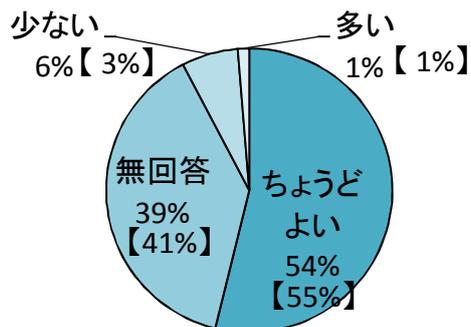
問2 問1で「1 有り」を選択した方にお聞きします。

・パス利用件数	25件（20医療機関）	【31件（18医療機関）】
・連携した急性期病院		
岡山赤十字病院	: 5件（5医療機関）	【5件（4医療機関）】
岡山医療センター	: 1件（1医療機関）	
心臓病センター榊原病院	: 3件（3医療機関）	【1件（1医療機関）】
倉敷中央病院	: 14件（11医療機関）	【17件（8医療機関）】
津山中央病院	: 1件（1医療機関）	【4件（3医療機関）】
福山市民病院	: 1件（1医療機関）	
岡山大学病院	:	【2件（1医療機関）】
岡山済生会総合病院	:	【2件（2医療機関）】

※1つのかかりつけ医療機関が複数の急性期病院と連携している場合もあるため、パス利用医療機関の計と連携した急性期病院の医療機関の計は必ずしも一致しません。

問3 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

1 少ない	5【2】
2 ちょうどよい	42【39】
3 多い	1【1】
(不明・無回答)	30【29】



問4 問3でそれぞれ選択された理由をご記入下さい。

<主な意見>

1 少ない

- ・ 日常生活の中で行なう運動指導（処方せん）には、もう少し具体的な運動内容を記載していただきたい。かかりつけ医の施設で、リハビリができる体制はありません。
- ・ 当院が主に紹介している医療機関からは画像データを含めもっと詳細なる情報提供書が送られてくる。ハート手帳を持ってくる人は殆どいない。
- ・ 患者さん向けとして大きすぎて内容が多い。もっと手軽に持ち歩ける方がよいのでは？医師用としては少なく、把握しづらい。

2 ちょうどよい

- ・ 短時間で状況を確認するのにちょうどよい
- ・ 「冠動脈疾患～上手につき合うために～」のPDFファイルをダウンロードして、情報の活用をするには適切である。
- ・ 急性期病院での記録がきちんとできていれば、情報量としてちょうどいい。
- ・ まだ使用していないので十分分かりませんが、これくらいで良いのではないのでしょうか。
- ・ 患者さんとの信頼関係の構築に良い
- ・ 症例が少ないので、内容そのものについてははっきりした回答はできないが、診療時間内に内容をチェックしたり、記入できる量でよいと思う。

3 多い

- ・ 必要最低限度の情報量でないと患者さん自身が全て読むと思えない。

問5 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

<主な意見>

- ・ サイズがもう少し小さい方がよいのでは。
- ・ 本人が受診時に持参を忘れるので、もう少し小さくならないか？とのことでした。（本人の妻より）
- ・ 高齢の方など、持ち運ぶ時にサイズが大きと思う。冊子「冠動脈…」の内容は、他職種が関わっており、とてもわかりやすい内容だと思う。
（サイズが大きいの意見 計11医療機関）
- ・ かかりつけ医を受診する際に、手帳を持参していただけないので、チェックリストの記入ができません。病院受診時には持参されているのでしょうか。
- ・ ハート手帳は連携の道具にはなりますが、病状の詳細や治療内容・方針等、診療情報提供書は必要です。医師に二重の手間がかかってしまいます。
- ・ 患者さん自身の意識が低い？使用経験なし

安心ハート手帳
(岡山県急性心筋梗塞医療連携パス)

運用マニュアル

～参加医療機関用～

2013年4月

岡山県急性心筋梗塞医療連携検討会議

○ 目的

「安心ハート手帳」（以下「連携パス」という。）は、岡山県の急性心筋梗塞の冠動脈血管治療後患者の治療経過を急性期病院と地域のかかりつけ医と運動施設等が共有し、より連携を密にすることにより、医療の質の向上と患者の予後の改善を目的としています。

<コーディネーターの選定>

急性期病院においては、連携パスの運用に携わる連携パスコーディネーターを最低2人決めてください。（1人は連携パス事務局との連絡、報告をする事務系の方、もう1人は患者に関わる事のできる看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど。心臓リハビリテーションに携わっている人が適任です）。

運用説明や医師への連絡などをお願いします。

○ 連携パスの適応症例

連携パスの適応とする症例は、急性期病院が選定して下さい。

概ね以下に示す症例としています。

◇ 急性心筋梗塞

- ・重症心不全などの重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- ・心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
- ・ADLが自立している症例
- ・冠動脈再灌流療法が施行された症例

※ 事情により急性期病院にそのまま通院する場合も、連携パス適応ありとします。

○ 連携パスの適応期間

- ◇ 急性心筋梗塞、狭心症の冠動脈血管治療後ともに、初回の追跡冠動脈造影までです。
- ◇ 初回の追跡冠動脈造影は病状・ステントの種類、施設の方針によりますが、3ヶ月～1年です。
- ◇ 追跡冠動脈造影が予定されていない場合は、連携パスを原則終了して下さい。ただし冠動脈CTや心筋シンチグラムでの代用する事は可能です。

※ 連携パス終了後においてもパス冊子は連携ツールとして継続使用していただいても構いません。

○ 連携パスの使用を途中で中止する場合

- ・ 死亡したとき
- ・ 患者急変などで、連携パス使用期間中に緊急入院があった場合で、継続使用が困難であるとき
例) 緊急入院中にPCIを新たに施行した場合
- ・ その他の理由で使用を中止する場合

※ 連携パスを途中で中止した場合でも治療後は再開が可能です。

○ 個人情報の取扱いについて

- ◇ 治療や生活支援において連携する関係機関と情報が共有されます。
- ◇ 連携パスの運用時は、個人情報の保護に細心の注意を払います。プライバシーに問題のない範囲で事務局に提供され、連携パスの運用状況等を評価するために使用される場合があります。

○ 参加医療機関届出について

- ◇ 連携パスの取り組みに参加して頂く医療機関は、別添様式（届出用紙）により、参加医療機関情報を事務局へ送付して下さい。
- ◇ 連携パスの向上のため、事務局は運用状況等の評価を行います。この取り組みに参加して頂く医療機関におかれては、年1回事務局への報告をお願いします。
※ カテーテル治療が可能な医療機関は、原則参加をお願いします。
- ◇ 急性期病院が、連携パスにはじめて参加するかかりつけ医療機関と連携を行う場合は、急性期病院からかかりつけ医療機関に連絡し、届出を行うよう依頼してください。

○ 岡山県急性心筋梗塞医療連携パス事務局について

- ◇ 事務局は、岡山県庁保健福祉部・医療推進課に設置します。
- ◇ 事務局は、連携パスの評価を行い、届出医療機関に還元します。
- ◇ 連絡先 岡山市北区内山下2-4-6
 岡山県庁保健福祉部医療推進課・疾病対策推進班
 TEL：086-226-7321
 FAX：086-224-2313

○ 運用例（おおむね以下のフローを参考にしてください。）

【急性期病院】

- ① 急性心筋梗塞で入院、カテーテル治療を行う。
- ② 連携パス等を用いて退院を目指す。また急性期心臓リハビリテーションも開始する。
- ③ 連携コーディネーターは、主治医と相談して連携パスのエントリーについて確認する。
- ④ エントリーをする場合は、主治医もしくは連携コーディネーターが「安心ハート手帳」の「連携パス計画書（P 1～4）」を用いて説明する（確認のためのサインをしていただきますが、同意書という形はとっていません）
- ⑤ 連携コーディネーターは、かかりつけ医療機関が届出をしているかを確認し、未届けの場合は県への届出をお願いします。
- ⑥ 主治医は、退院までに「急性期病院での治療記録（P 5）」の記載をする。
- ⑦ 「運動処方箋（P 6）」は、可能な場合は医師が記載する。

【かかりつけ医療機関】

- ① 診察時は、「急性期病院からの治療記録（P 5）」と「運動処方箋（P 6）」を確認し、運動指導の参考にする。
- ② 「心筋梗塞の管理目標（P 7）」を参考に治療を行う。
診察内容は、「二次予防目標達成チェックリスト（P 8）」にチェックする。
- ③ かかりつけ薬局があればP 3に記載してもらおう。
「安心ハート手帳」を参考にしながら服薬指導をしてもらう。
- ④ 診察時は、「あなたの日々の生活の記録（P 13～）」を確認する。

【健康運動施設、心臓リハビリテーション実施施設】

- ① 急性期病院もしくは、かかりつけ医療機関からの指示があることを確認した後、「運動処方箋（P 6）」を参考に運動療法を行う。

<25年度第2回会議資料より抜粋>

「多職種を対象とした岡山県急性心筋梗塞医療連携パス説明会」での主な質疑

(Q1) 連携パスに歯科の関わる項目を入れてほしい。

急性期病院で口腔ケアができないのは理解しているが、回復期の段階でかかりつけの歯科医がワーファリン使用を理由に治療を断るようなケースも見られる。

治療の経過で、かかりつけ医等が「口腔ケアを行うよう指導を行う」といった項目を追加することはできないか。

(回答) 歯周ポケットの深い人は心疾患のリスクが高まることも知られており、歯科は重要な項目である。検討課題としたい。

岡山県の糖尿病パスには歯科の項目が設けられている。

(Q3) パスは急性期病院からスタートすると思うが、どういった病院が参加しているのかは確認できるのか。

(回答) 参加医療機関は県庁医療推進課のホームページ上で公表している。まだまだPR不足と思うので、周知方法についても検討していきたい。

第2回 おかやまハートフルウォーキング 活動報告

日時：平成24年10月19日（日）9:00～13:00（受付開始 8:30）

場所：旭川河川敷（蓬莱橋）スタート 岡山城経由 後楽園

主催：岡山心臓リハビリテーション研究会

予算申請 一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

実行責任者 岡 岳文

後援：岡山県

山陽新聞

RSK 山陽放送

RNC 西日本放送

OHK 岡山放送

KSB 瀬戸内海放送

TSC テレビせとうち

NPO 法人ジャパンハートクラブ

メディックスクラブ岡山

参加者：心臓病患者および家族 46名

医療スタッフ 42名

岡山市観光ボランティア活動連絡会 10名

岡山県ノルディックウォーク協会 10名

岡山県保健福祉部医療推進課 2名

概要：当日は雲一つない秋晴れに恵まれた。患者家族46名を含む、総勢100名を超える参加者により開催された。準備運動の後、ノルディックポールを用いたウォーキングを5グループに分けて行った。

岡山城、後楽園の史跡については観光ボランティアスタッフによる解説を受けながらウォーキングを行った。医療スタッフは普及啓発のため、用意していた揃いのTシャツを着用した。コースは健脚度にあわせ2コース用意し、リタイアなく全員がゴールすることができた。救急医薬品やAEDも準備していたが幸いなことにトラブルは見られなかった。後楽園内で簡単な閉会式、記念写真を撮ったあと解散になった。

また当日は山陽放送、山陽新聞社の取材を受け、ニュース記事にもなり一般の方への普及啓発にも役立った。